

令和5年度第2回地域包括ケアシステム検討委員会（報告）

日時 令和5年11月21日（火）10:00～11:30

場所 高梁市役所 3階大会議室1

欠席 村上委員、加藤委員、島田委員

1. 開 会（進行：森本）

2. あいさつ（山根委員長）

よりよい地域社会やまちづくりのために忌憚のない意見を聞かせてほしい。

3. 協議事項

（1）高梁市14地区ミーティングの状況について（報告）

テーマ：「高梁市の高齢者の移動支援について」

高梁市社会福祉協議会生活支援コーディネーター 石村 主事

P3説明

- ・地域住民、民生委員、福祉委員の意見を集約している。全ての意見を拾い上げるのは難しいがかなり集約ができた
- ・社会資源はあるが利用方法が分からなかったり、周知が足りなかったりするため周知方法の検討が必要
- ・社会資源が地域によって違うので、その地域に合ったニーズについて地域ごとでの検討が必要

（2）グループワーク・意見交換

- ① 高梁市14地区ミーティングの結果の感想・意見について
- ② 情報整理や支援サービスの周知のために

情報提供（事務局）

・おかやま愛カード（岡山県警察署）

運転免許証を自主返納された65歳以上高齢者に交付

路線バス半額、タクシー1割引き、協賛店での割引

・移動販売事業の補助金（高梁市産業振興課）

個人商店…移動販売車の取得及び改造経費（2分の1以内） 150万円

大規模小売店舗等…移動販売車の改造経費（5分の1以内） 50万円

〈1グループ〉

- ①高梁市14地区ミーティングの結果の感想・意見について
 - ・中心部と郡部は違う。地域性あり。
 - ・情報を周知する側と受け取る側で意識の差がある。その差を意識しなければならい
 - ・足に困っていない人も一定数いる。地域で支え合う仕組みができていていると考えられるので継続できるように支援する必要がある
 - ・アンケートでは、足の不満足度や緊急度がわかる項目があったほうが良い。

- ②情報整理や支援サービスの周知のために
 - ・小学校や警察との連携をして子どもを通じて大人の世代に周知する
 - ・ライオンズクラブやロータリークラブなどの地域組織との連携
 - ・敬老の日や交通安全週間などを利用したイベントでの周知
 - ・カフェや老人クラブなど人が集まる場に掲示する。

〈2グループ〉

- ①高梁市14地区ミーティングの結果の感想・意見について
 - ・あまり高梁市でドローンの活用をしている話を聞かないのでドローンの活用を進める
 - ・「バス停まで行けない」は昔からある意見で、言い尽くしている。もう解決できないなら、別の可能なことを検討したほうが良い
 - ・今までは地域で何とかしてきていたが、限界が来ているのが現状だと思う

- ②情報整理や支援サービスの周知のために
 - ・サービスの使い方を知らないと言う人のために、戸別訪問等での対応が必要
理解力が個人で違うので、個別に納得しないと使えない。
 - ・地域ごとで利用できるサービスを表で作成する。作りっぱなしにならないように更新作業を定期的に行う

〈3グループ〉

- ①高梁市14地区ミーティングの結果の感想・意見について
 - ・高齢化により移動手段の確保が難しいが、個々の要望に応えることは難しい
 - ・市街地でも移動が難しいと聞くので中山間地域は壊滅的。移動販売車が柔軟に対応してくれているので、今後も進めてほしい
 - ・ボランティアの確保が難しく、組織化ができずに見通しがつかない状況だと思う

- ②情報整理や支援サービスの周知のために
 - ・地域の通所サービスに来た人に対してどのようなサービスがあるかを伝える
→通所サービスに来る人を増やす取り組みが必要

- ・各地域ごとに課題に取り組む事が必要
- ・行政が提供するサービスと民間が提供するサービスで同じようなサービスがあるため集約できるものは集約して周知する（生協と行政のボランティア）

〈まとめ：山根委員長〉

- ・地域ごとでサービスの見える化ができれば、広報がしやすくなる
- ・サービス周知するためには、地域で情報を持っている人は多いと思うのでそういった情報をきちんと伝えられるような組織作りが必要
- ・若い世代が、自分の親世代にサービスを伝えられるような仕組みや目につく周知をすることが重要

4. その他

- ・おかやまコープ生活支援サービスの紹介（村上委員）
- ・ボランティア養成講座
- ・家族介護者のつどい
- ・高梁市医療介護市民公開講座

5. 閉 会

第3回予定：令和6年2月14日（水）10:00～ 3階大会議室1